

律改正ハ刻下緊急ノ必要アリ到底時日ヲ
過スヘカラサルヲ以テ茲ニ帝國憲法第八條
第一項ノ規定ニ從ヒ緊急勅令ノ形式ニ依ラ
ムトスルモノナリト謂フ
按スルニ本案ハ國體ノ變革又ハ私有財産制
度ノ否認ヲ目的トスル犯行ノ最モ惡逆ニシ
テ極力之カ掃蕩防遏ニカメサルヘカラサル
ヲ念ヒ此ノ目的ノ爲現行治安維持法ニ相當
ノ改正ヲ加ヘ以テ之ニ對スル有效適切ナル
罰則ヲ設ケムトスルモノニシテ其ノ趣旨ニ

於テ不可ナル所ナク又現下ノ事態極メテ急
迫ヲ告クルモノアルニ鑑ミ帝國議會閉會中
ノ今日ニ於テ帝國憲法第八條第一項ニ依ル
緊急勅令ノ形式ヲ採ルコト洵ニ已ムヲ得サ
ルモノト認ム而シテ本案ハ帝國憲法第七十
條ニ依ル財政上ノ緊急處分ノ場合ト異リ帝
國議會ヲ召集スル能ハサルコトヲ以テ其ノ
制定ノ要件トセス又其ノ内容ニ於テモ特ニ
非議スヘキ廉ヲ認メサルニ由リ之ヲ是認ス
ルノ外ナキモノトス但夕茲ニ本官等ノ特ニ